



CIF-JAPAN

NEWSLETTER No.20

Council of International Fellowship

発行人 CIF ジャパン事務局長 坂本正路

編集人 同 浅野純江 発行日 2009年3月

第28回 CIF 国際大会に参加しませんか？

CIF 国際大会が 2009 年 8 月 3 日～8 日フィンランドのヌーミジェーヴィ市キルジャヴァ（ヘルシンキの北東 50 キロ）にて開催されます。会員の皆様はぜひ、ご参加ください。現在日本から 2 名の方が参加申し込みをしています。

- 大会テーマ 対話—平和と相互理解の促進を目指して
- 大会会場 フィンランド成人教育大学キルジャヴァ校舎
- 詳細のお問い合わせ 電話 090-4300-5441(竹内) 090-5449-8824(坂本)
- ホームページ http://www.cifinland.org/?page_id=193 (大会)
<http://www.cifinland.org/> (CIF フィンランド)

CIF ジャパンのホームページをご活用ください

<http://cif-japan.papnet.jp/>

CIF ジャパン副会長坂岡隆司氏のご尽力により、念願のホームページを開設いたしました。文責は本会役員会にありますので、お気づきの点がありましたら事務局あて E-メール (cifjapan08@gmail.com) またはファックス (04-7131-8640) にてお知らせください。また、皆様のご友人、とりわけ社会福祉協議会傘下の福祉施設連絡協議会、社会福祉法人経営の各種施設、その他社会福祉関係の NPO 諸団体等に從事されるお知り合いの方々に、是非ともこのホーム・ページをメールでお知らせ下さるようお願い致します。

CIF/CIPUSA 国際研修プログラムへの参加者募集に役立てていただければ幸いです。

2008 年度第 2 回 CIF ジャパン役員会が開催されました

2008 年 11 月 15 日東京上智大学社会福祉学科会議室にて標記役員会が開かれ、役員 6 名が出席して協議を行いました。議題は、(1) ホームページの作成、(2) 国際研修プログラム応募者の選考基準について、(3) 次年度事業計画ならびに今後の CIF ジャパンの活動についてなど多岐にわたり話し合われました。10 月にウイーンで開催された CIF 各国の代表者会議に出席された竹内会長より、その報告が行われましたので次ページに掲載いたします。

2009 年度 CIF ジャパン総会のご案内

2009 年度の総会は西日本を会場に下記日程にて開催の予定です。

議事のほか、1 時間程度の講演またはシンポジウムを検討しています。ご意見お聞かせ下さい。

日時：2009年6月13日(土曜日)午後1:30～5:00頃まで 場所：未定(京都市内で検討中)

ウィーンでの CIF 代表者会議に出席して

会長 竹内 和利

昨年(2008年)10月17日から19日まで、ウィーン市内で開かれた CIF の代表者会議(Board of Directors 会議、以下 BD 会議)に、CIF ジャパンを代表して出席して参りました。CIF の BD 会議は、国際大会の隔年開催に対して、毎年一度どこかの国で開催されます。出席者は CIF 会長はじめ執行役員、各国代表で構成され、随時必要な専門家が呼ばれます。今回は 25 ヶ国の代表と CIF の執行役員併せて 34 人がホテルの会議室に集まり、終日多くの議題と取り組みました。とにかく加盟支部の 3 分の 2 以上の出席が会議成立の条件なのです。

会議の内容は多岐にわたり、手短にはお知らせ出来ませんので、要旨のみ報告させていただきます。現状、世界の CIF がどのような動きを示しているか少しでもご理解を頂ければ幸いです。

1. 「CIF の充実」を目指す動き

これは組織運営の現状維持の努力でもありますが、年会費を負担する 650 人程の世界各地の会員との結びつきを維持する会報 (World News)、ウェブ・サイトの充実、各国支部との連帯・連携の維持に資する種々の会議の開催、メールやブログによるコミュニケーションの促進、等々、グローバル・コミュニケーション手段の CIF 内での意識的な活用が目指されています。当然、経費節減も含まれ World News の中央での印刷・各国配布をやめて、ネット送付版を各国で印刷・配布してはどうかという意見も討議され、また今回新たにブログの活用では CIF スウェーデンが担当することになりました。また会計は米ドルに代わってユーロで処理することが決まり、各支部からの CIF 本部への納入金も、現行 1 人当たり 10 米ドルが 10 ユーロに変更されます。

充実という点では、多くの支部が実施している交換研修プログラム Exchange Programs (以下 EPs) の充実も検討されています。2008 年度、世界 31 支部の内 14 が EPs を実施し、全体で 83 人の応募者を得て、内 42 名が実際に参加を果たしたそうです。会議ではこの EPs の充実をはかるため、プログラム内容の

「標準化」が話し合われました。EPs が CIF の根幹をなす事業とみなされていることを今回強く印象づけられました。これは各国での CIF 結成の動機が、米国で CIP を経験した者たちの(同士の)単なる親睦会作りではなく、自国に戻り米国 CIP に倣って国外の専門家の研修実施を企図したものということです。

CIF 交換研修の実施状況

	2005年	2006年	2007年	2008年
CIF 支部の数	29	31	32	31
研修実施の支部	15	16	17	14
研修申込者数	32	68	97	83
研修実参加者数	44	62	46	42

Source: Edna Bar-On, Report on Exchange Programs